

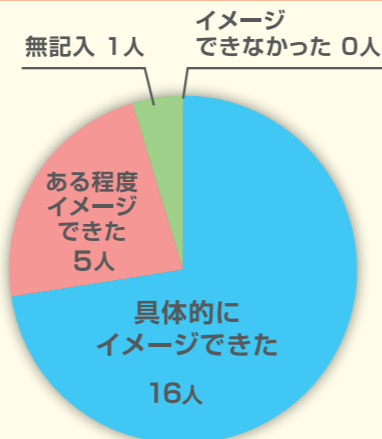
バーチャルリアリティ

VR体験・相談会を開催しました!



- 平成29年11月に、須磨多間線整備後の眺望をバーチャルリアリティ(VR)で再現し、皆様にご覧いただく「VR体験・相談会」を計3回開催しました。
- ゴーグルを着用して、現場に自分がいると想定した体験も頂き、「道路整備後の眺望をイメージでき、分かりやすかった」とのご意見を多く頂きました。
- 参加者数：約30人(3日間合計)

参加者アンケートの結果(回答者のみ)



本動画はイメージです。詳細については設計を進める中で検討していきます。



本動画はイメージです。詳細については設計を進める中で検討していきます。



本動画はイメージです。詳細については設計を進める中で検討していきます。

須磨多間線整備後の自動車の走行景観をホームページでもご覧いただけます。

「神戸市:都市計画道路須磨多間線(西須磨)整備事業【須磨区】」を選択

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/construction/avenue/sumatamon.html>

事業概要やこれまでのミニニュースなどをご覧いただけます!

須磨多間線 検索

問合せ・連絡先

神戸市建設局 道路部工務課 TEL.078-322-5491
中央区加納町6丁目5番1号(市役所2号館3階)



須磨多間線整備を 考える会



バーチャルリアリティ

VR体験・相談会

開催結果

昨年11月・12月に「須磨多間線整備を考える会」「VR(バーチャルリアリティ)体験・相談会」を開催しました。

これらの場においては、「渋滞対策のために早期整備すべき」や「環境悪化をもたらすことから計画を見直すべき」など、事業の賛否に関する声をはじめ、

- ▼住民と市との間でよく話し合いをする場をもつべき
- ▼市有地の活用を含め、よりよいまちづくりを考えていくべき
- ▼環境保全対策や交通安全対策をしっかりとすべき

など、事業の進め方や道路の設計・運用に関するご意見・ご指摘を多く頂きました。

今後、これらに対応するため具体的な検討や取組みを行うことが必要と考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。

須磨多間線整備を考える会を開催しました!

ご応募いただきました住民のみなさんなど、様々な立場から、須磨多間線に関するご意見を発表していただきました。

- 日時:平成29年12月17日(日)14~16時
- 場所:須磨区役所4階多目的会議室
- 参加者:約70人
- プログラム
 - (1)はじめに
神戸市から須磨多間線の概要説明など
 - (2)関係団体等からのプレゼン
 - (3)応募者(住民のみなさん)からのプレゼン
 - (4)おわりに
プレゼン内容の振り返りなど



頂きましたご意見などは、次頁に記載しています。





関係団体等からのプレゼン内容

① 神戸大学大学院工学研究科:小池教授 道路整備の現状と評価の考え方

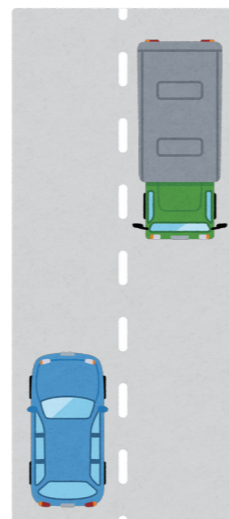
道路は私たちの生活を支える不可欠なものであるが、その必要性をどう考えるかは難しい。道路ができる「嬉しさ」はあるが、人それぞれ嬉しさは異なる。道路はみんなで作ったり、使ったり、費用を負担するもの。個人の視点も大事だが、集団の視点も大事である。

② 山陽電気鉄道株式会社 踏切等における安全性向上の取組み

須磨区内には多くの踏切がある。事故防止のため様々な取組みを行っているが、より一層の安全性向上のためには、通行者のご協力のほか、鉄道事業者と道路管理者が連携・協力して対策を進める必要がある。

③ 神戸市危機管理室 災害に強いまちづくり・みちづくり

災害に強いまちづくりを実現するため、地域・区・市といった各レベルに応じた防災性向上の取組みが必要である。「緊急輸送道路ネットワークの構築」など、道路の果たす役割は大きい。



住民のみなさんからのプレゼン内容

① 須磨多間線について、もう少しリアルにイメージしてみませんか (桜木町の住民)

フェンスに囲まれた広大な道路予定地は、桜木町の日常の風景となり、私たちを無関心と思考停止に陥らせます。これからどうするのか、どんな町にしたいのかを、人任せ・行政任せにするのではなく、ひとり一人がイメージし、対話を深め、行政とも向き合うことが必要です。説明会等に誘い合って参加することが第一歩です。道路予定地周辺の市有地に地域交流センターのような場をつくり、外に開かれ、人々が交流できる素敵なまちにしてみませんか。

② 須磨多間線整備の早期実現について (潮見台町の住民)

阪神・淡路大震災の際、至る所で交通渋滞が発生し、火災現場や負傷者の元に消防・救急車が間に合わず、多くの人が犠牲となった。二度と起きないよう、新しいまちづくりが進められており、道路整備もその一環です。

日頃も周辺は渋滞しており、消防・救急車の遅れや排気ガス増加の心配もある。立ち退きされた地権者の想いに応えるためにも、早期建設を望みます。



震災時の様子(H7.1 須磨区内)

③ 計画の再度見直しを (行幸町の住民)

市は須磨多間線の建設を「有りき」としているが、環境悪化などの問題があります。離宮道の街並みを壊すことも許されません。地域以外の方が通る道路が整備されても、住民には恩恵がありません。計画を白紙化していただきたい。

どうしても道路の整備が必要ならば、天井川左岸線もしくは天井川右岸線を立体交差化させる計画でも良い。

④ 絶対に必要な道路なら堂々と本音で訴え・説明を (高倉台の住民)

沿線住民にとっては景観悪化、騒音、交通事故の増加など、メリットよりもデメリットの方が大きいと感じるのは事実です。しかしそれを上回る大きな意義があることを理解してもらわなければ、話は前に進みません。お互い腹を割って本音で話し合える場をつくってもらえるよう期待します。

⑤ 高齢者福祉施設からみた道路整備 (須磨区内の福祉施設)

施設では体調が急変する入所者が度々おられ、救急車を要請します。1分1秒を争う場合もあり、到着までの時間が長く感じられます。デイサービスでは、利用者やその家族の負担軽減のため、スムーズな送迎が求められています。

渋滞や踏切による救急車や送迎車の遅れを防止する対策をしていただきたい。

⑥ 公共工事について (高倉台の住民) ※当日欠席

公共工事には必ず負の側面(近隣の住民への迷惑など)がありますが、50年、100年先には、必ず街が発展することを十分理解してもらうことが必要です。早く前に進めることが肝要です。



⑦ 子どもをもつ立場、子どもに指導する立場から考える (離宮西町の住民)

多井畑と桃山台の間の道路は細く、事故の不安を感じています。また、自転車で通学する人も多くいます。道路整備にあたっては、自転車専用部の設置など、事故を未然に防ぐ対策を十分とってほしいです。

離宮公園南側は須磨駅方向に向かう下り坂の途中から、一方通行へ行く細い道があります。どちらも通学路ですが、歩行者がいても徐行せずスピードを出して走行する車があり、とても危険です。

この場所に須磨多間線を整備するとなった場合には、ゾーン30の規制や電柱地中化、歩道のバリアフリーや防犯カメラの設置など、通学路の安全確保を優先して考えてほしいです。



⑧ 天井川から須磨離宮公園にかけての交通量を低減する別提案 (多井畑南町の住民)

国道2号と第二神明の相互アクセスのため、ここを通る大型車が渋滞の増加する原因になっていると思います。現在第二神明は須磨インターが起点となっていますが、例えばこれを若宮インターを起点に変更してはどうでしょうか。そうすれば国道2号から第二神明へ直接アクセスできるようになり、天井川左岸線を通る必要性がなくなります。

⑨ 大型車通行規制を検討してはどうでしょうか (離宮前町の住民)



都市計画道路の整備は必要ですが、高齢者や障害のある方が歩きやすい昔からのまちの構造が残っている西須磨地域に大型車両が走行することは非常に危険だと思います。

そこで西須磨工区では、大型車両の通行を規制することを提案します。緊急車両や災害時は例外として、大型車は天井川左岸線を利用することにし、乗用車と分ければ、踏切渋滞は軽減されるのではないのでしょうか。

⑩ 須磨地域における渋滞緩和、環境改善や観光振興などのため早期の須磨多間線整備を望む (西区の住民)

私はもともと長年月見山に住んでいました。

現状の渋滞が緩和されれば、環境負荷が低減し、周辺住民の生活環境が改善されます。また、バス等がスムーズに定時運行できるようになれば、自家用車から公共移動手段への転換や、須磨への観光アクセスが増えつつある中、観光事業への貢献が期待されます。

交差点や橋の計画、交通安全対策など必要な検討を進め、早期の開通を願っています。

● 意見のみの提出

- ①西須磨地域の道路は離宮公園前交差点を中心に、天井川沿いの道路などが慢性的に渋滞しており、須磨多間線の早期整備が必要であると考えます。ただし、できる限りの環境対策をお願いします。
- ②震災から20年以上が経って、広大な空き地をいつまで放っておくのか。このままでは地域に何の恩恵ももたらさない。

参加者アンケート

「須磨多間線整備を考える会」への意見

- 賛否両論が冷静に紹介され良かった。賛成反対両方の意見が聞けることはよいことである。
- プレゼンターから提案された内容を検討してはどうか。
- 会場の参加者の意見を聞く時間を設けるべきではないか。
- 賛成と反対の意見があると思うが、このような場をきっかけに行政と住民が納得できる事業になることを願っている。

須磨多間線整備事業に対する意見

- 早期に整備すべきである。
- 事業に反対であり、計画を見直すべきである。
- 市は地元に入って行って、住民の声を拾い上げる必要性を感じた。住民等と協議すべき。
- 工事中・完成後の安全対策について、細心の注意を払って計画してほしい。
- 周辺市有地の土地利用について地元と話し合してほしい。

※その他、プログラムの構成、事前の周知、会場や当日の進行などについてご意見を頂いております。今後の取組みの参考とさせていただきます。

